

第4回U-16山梨プログラミングコンテスト2021

U-16

山梨

プログラミング コンテスト

開催報告

○令和3年12月11日(土)
○山梨県立甲府工業高等学校 専攻科



令和3年12月11日(土)山梨県立甲府工業高等学校専攻科を会場に『第4回U-16山梨プログラミングコンテスト』が開催されました。U-16プログラミングコンテストは、旭川からスタートした、パソコンやプログラミングに興味がある16歳以下の児童生徒(高校生、中学生、小学生)を対象に、ITの関心を深めてもらい将来のITエンジニア育成に繋げることを目的とした、日本各地で開催されているコンテストです。参加者が作成したプログラム同士を戦わせる「競技部門」、デジタル作品を審査員が評価する「作品部門」で構成されています。毎年参加者が増加し競技部門8名、作品部門9名のご参加をいただき、熱戦を繰り広げ両部門を無事に終了することが出来ました。一部ではありますが、当日の様子をご覧ください。

競技部門 参加者 8名(中学生5名、小学生3名)

競技部門では対戦型ゲームプラットフォーム「CHaser」の上で参加者が作成したプログラム同士を戦わせ、点数を競います。観客の目の前でプログラムが試合を行う、スポーツの試合のような部門です。今年は、前回の優勝者に挑戦するという形式で対戦を行いました。工夫を凝らしたプログラム同士、1回の対戦では決着がつかずに何度もマップを変えて再戦を行うなど手に汗握る接戦が繰り広げられました。

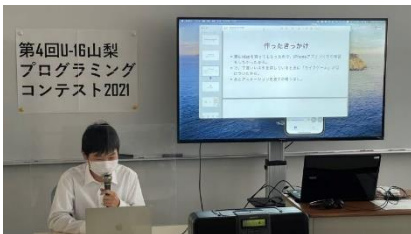


結果発表 優勝：中学1年生の兵藤蒼空さん 準優勝：中学3年生の今村大河さん

※競技部門で優勝した兵藤さんは、2022年1月に東京で開催される「BCN AWARD 2022 / BCN ITジュニア賞 2022」のBCN ITジュニア U16賞にノミネートされました。

作品部門 参加者 9名(中学生3名、小学生6名)

作品部門は、コンピュータグラフィックス(静止画、動画、アニメーション)やWebページや自作のプログラムなど、自由に作成したデジタル作品を審査員が評価する部門です。参加者の皆様には短時間で作品をご紹介いただき、それについて審査員による質疑応答が行われました。自作のシューティングゲームやWebサイト、便利なアプリなど、参加者全員が工夫を凝らし、こだわりを持った作品を提出してくださいました。



結果発表 金賞：小学6年生の横澤幹太さん(Scratchでロールプレイングゲームを制作)
銀賞：中学1年生の兵藤蒼空さん
銅賞：中学1年生の堀江晃太郎さん 審査員特別賞：小学5年生の青柳篤司さん

主催：U-16山梨プログラミングコンテスト実行委員会

事務局 NPO法人山梨ICT&コンタクト支援センター

共催：山梨県高等学校教育研究会工業教育部会

後援：経済産業省関東経済産業局 / 山梨県 / 山梨県教育委員会 / 甲府市

甲府市教育委員会 / 甲斐市教育委員会 / 笛吹市教育委員会 /

NPO法人ITジュニア育成交流協会 / 山梨大学 / 山梨県立大学 / 山梨英和大学

山梨学院大学 / サンテクノカレッジ / 山梨放送 / 山梨日日新聞 / テレビ山梨 / エフエム富士

協賛：エレコム株式会社 / 株式会社大塚商会 / 株式会社オービックビジネスコンサルタント /

株式会社シー・シー・ダブル / Dynabook株式会社 / トレンドマイクロ株式会社 /

日興通信株式会社 / ビー・シー・エー株式会社 / レノボ・ジャパン合同会社 /

株式会社フォーラムエイト / 株式会社バッファロー / NPO法人ITジュニア育成交流協会

